



	<p>歸 還</p>	<p>攻撃隊各隊突 撃手ニ転ス 海棠溪碼頭地区 ヲ爆撃手敵影ヲ 見ス</p>
	<p>一六四〇 八一五</p>	<p>一五三二 五三八</p>
<p>実ニテハ別ニ詳述ス (註)故障機並ニ搜索ニ</p>	<p>四基地ニ帰着 右以外ノ飛行機隊ハ第十 ニ当ル 高シ揚子江沿岸ノ搜索 ハ九〇ハ一二〇ノ状況ヲ見ル爲分</p>	<p>十五空 (五三五) 一 联队上 (五四〇) 頃 一 十三穴工 在雲量ニ要高五〇〇 三六機(後卷七九) 八三三五合 同シ爆撃手前ノ油漏洩 ノ爲引込ス (五三二) 一 联队上爆撃手 (五五〇) 一 十三空 白市駅飛行 場ヲ爆撃手</p>
<p>歸着ス ヲ取り一八〇〇迄ニ第十基地ニ</p>	<p>收容隊ニ機八計並通リノ行跡 ヲ取リ一八〇〇迄ニ第十基地ニ</p>	<p>一七七掩護隊機隊九機歸着(三十一) 一七四同右三機歸着(基地)</p>

故障機自爆状況 (1/12D)

攻撃隊へ突撃前重慶北方三〇哩高度七〇〇にて待機中一五一の油漏  
洩ノタメ引返スヲ発信シテ本隊ヨリ分離シ一五三五頃涪洲ヲ爆撃シ帰  
途ニ就ケリ(一五三五涪洲ヲ爆撃ス左發動機油漏洩ス電アリ)  
一三〇八一ハ不時着スルヤモ知レズニ次イデ一六四四「自爆スルヤモ  
知レズ」ヲ接受シ直ニ本隊ヨリ分離シ揚子江沿岸附近ノ搜索ニ向  
ヘリ一七〇〇我震動極メテ大ノ電アリ 一三〇八搜索場所見当  
ヲ定メンガ為「位置ヲ知ラセ」ヲ数回送信セル所一七〇五「宜昌上流  
揚子江上空ニ出ル速カ六五分即」ニ次イデ「暫クシテ宜昌ナルモ震  
動甚シ」ヲ発信セリ 再ビ「推定位置ヲ知ラセ」ニ対シ一七二七「機体  
震動甚シ」ヲ発信シ「受信困難」ヲ発信シ一七三五ニ到リク急ニ感度又  
無クアリタリ

一九〇二九〇ハ宜昌巫山間ニ航過シ搜索モ何等手掛ナク宜昌

基地指揮官ハ直ニ艦爆ニ機及ビ水偵ニ機ヲ以テ宜昌セ東附近向  
 搜索翌日早朝艦爆ニ機及ビ十五穴工中攻三機ヲ以テ宜昌巫山  
 建始向ヲ搜索セルモ何等手掛無キヲ以テ搜索ハ之ヲ以テ打切りタリ  
 二十日二三〇上海特務部ニ依リ重慶側電波ヲ傍受ル所ニ  
 依ル故障機ハ東上流ニテ自爆ヲ遂ケタルコト判明セリ

(三) 成果

(一) 爆撃手効果

中隊	爆撃手目標	効 果
一二中隊	川黔公路附近軍事施設	何レモ彈着概ネ目標ヲ被ヒ一二中隊 彈着中ニテ所 三中隊彈着中 一ヶ所火炎上ス
三中隊	右西方倉庫群	